

後藤 武薫 議員



録画
配信中



一括質問方式

- ① 財政状況
- ② 新型コロナウイルス感染症
- ③ 新型コロナウイルスワクチン接種
- ④ 大洲市民文化会館（仮称）建設事業
- ⑤ 農業

財政状況について

問 復旧・復興や感染症対策経費は財政に影響を与えていると思うが、今後の見通しはいかがか。

答 税込や交付税額の増加は見込めない一方で、市民の安全・安心な暮らしを支えるための事業は取り組む必要があります。市民のご協力により、合併当初の危機的な財政状

況を何とか改善してきましたが、学校施設の耐震化など公共施設等の長寿命化対策事業や復旧・復興事業等の影響による市債発行額の増加で、財政の健全化の指標の一つである実質公債費比率は、今後10%程度に上昇すると見込んでいます。

今後は、復旧・復興事業や感染症対策事業など、さらなる財政出動も必要になりますが、推進すべき事業の優先度や内容を精査し、適宜事業の実施時期を見直すなど、財政負担を平準化することで健全財政を堅持する考えです。

大洲市民文化会館（仮称）建設事業について

問 建設に当たり市民の声をどのように反映するか、具体的な構想についてお伺いする。

答 基本構想の策定に当たり、本年は市民ワークショップを2回開催しました。中学生や高校生など若い世代も参加し、新たな施設に対する思いや機能、諸室について、いろいろな思いと期待感を知ることができました。それらの意見を参考に基本構想を策定中で、今後のワーク

ショップでのご意見を踏まえ基本計画を策定します。

この事業は市民が主役であり、みんなで考えることをコンセプトに進めたく、先のワークショップの様子はニュースレターという形で市民へお届けしました。事業への関心も高く、復旧・復興を成し遂げた新たなシンボルとして心待ちにしている方も多いようです。

様々な文化芸術活動の場や交流拠点として気軽に利用できる施設整備を目指すことで、次代を担う子供たちが思い描く夢や将来像の実現に向けた手助けにもなるよう、市民のご意見を計画に反映する考えです。

農業について

問 農業は国の礎であり、農業の衰退は国の衰退につながるかと考えている。農業の担い手不足を解消し、労働力の確保にどのような施策を考えているか。

答 本市では、新規就農者を確保するため、市、県、愛媛たいき農協等で構成するサポートチームで、国の「農業次世代人材投資事業」などを活用しながら、独立・自営の新

規就農の支援を行っています。

その効果として、雇用就農を除く新規就農者は9年間で55名あり、一定の効果があつたと考えています。しかし、今後も高齢化や後継者不足が進むと予想され、新規就農者の確保は喫緊の課題です。そのため、今年度は地域おこし協力隊制度を活用し、インターンや他産業からの担い手を確保するとともに外からの視点で新たな価値を見出し、地域農業の活性化を図ります。

また農繁期は、各農家が地縁、血縁などで労働力を確保しています。その働き手も高齢化などが進んでいる状況のため、今年度から若手農業者の大洲市青年農業者協議会がえひめ南予きずな博の「就労支援・労働力確保中間支援連携プログラム」を活用し、労働力の確保を検討しています。これは、当協議会がLINEを利用した農業労働力のマッチングサービスと連携し、地域内に潜在する労働力の掘り起こしと地域外からの労働力を確保するきっかけづくりを創出するものです。